

■UPL工法 (UPLs) 施工フロー

一 次 診 断

二 次 診 断

工 事 準 備

確 認

事前診断によりUPL工法適用の可否を判断します。

事前診断に基づき、施工計画書を提出し、必要機材等の準備をします。

お客様のご了解をいただき、本施工へと進みます。

高 圧 水 流 洗 浄

機 械 洗 浄

高 圧 水 流 洗 浄

検 査

診断に基づき、管内状況に最も適した工法・装置で研磨・クリーニングを実施します。

内視鏡を用いて、管内の研磨具合を調査検証します。

排 水 器 具 復 旧

準 備 工 事

吸 水 ス ポ ン ジ 乾 燥

ド ラ イ エ ア ー 乾 燥

ラ イ ニ ン グ

乾 燥

検 査

復 旧

通 水

完 成 検 査

完 成 ・ 引 渡 し

管内清掃・異常の有無を確認し、管内乾燥してライニング工程へと進みます。

ライニング用塗料の選定・確認後、減圧吸引下、塗料とビグを管内へと導入し、ライニング施工します。規定の塗膜厚を確保するまで行います。

内視鏡を用いて管内検査・撮影、膜厚測定、漏洩検査(通水テスト)等を行い、ライニング仕上具合を検証します。

最後にお客様立ち会いのもとで、必要な検査を実施し、お引き渡しとなります。